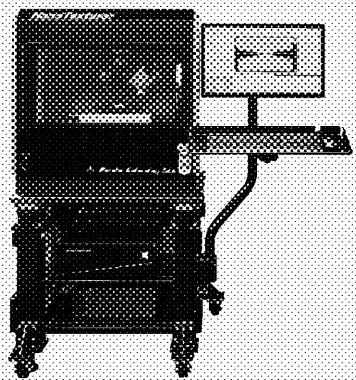


直動式で精度100倍

小坂研がウエハー段差計

小坂研究所（東京都千代田区、小坂一郎社長）は、業界初となる直動式の検出方法を用いた半導体ウエハーの接触式段差計「NT1520」を発売した。従来品と比べ100倍程度の精度で薄膜やエッチングパターン、配線層などの段差を計測できる。4 μ m・6 μ m・8 μ mのウエハーに対応する。価格は個別見積り。初年度に10台を販売し、将来的には半導体ウエハーの段差測定分野で世界シェア20%を目指す。

従来の段差測定法は、支点を中心にして動くレバー式。測定部の両端がシーソーのようにため、円弧分の誤差が生じていた。



高精度かつ短時間で測定できる 接触式段差計NT1520

直動方式は支点がなく、ウエハー上の段差を直接計測する。分解能は $0.1\text{ }\mu\text{m}$ （ナノ）で、は10億分の1）で、レバー式と比べ100倍近く精度を高められる。また検査処理時間

が従来品の2分の1程度と大幅な短縮を可能にした。

差計の発売も予定する。

測定可能な高さ方向の最大範囲は1300ミリ（マイクロは100万分の1）。またX軸・Y軸の両軸を測定できるため、加工対象物（ワーク）を置き直す手間を削減できる。

4^{フィート}・6^{フィート}・8^{フィート}の
ウエハーに対応できる
式段差計を開発した。
同製品のほか、今後普
及が予測される12^{フィート}向
けの「NT3030」、
600^{ミリメートル}径角ウエハー
体ウエハー向けの接触
精密機器や流体機器、
自動機器、包装機の製
造・販売を手がける。

向けの「NT6060」もそれぞれ用意した。今後は接触式でのノウハウを生かし、レーザーなどを用いて素早く計測できる非接触式段